

## レスポンスブル・ケアへの取り組み



レスポンスブル・ケアとは、化学品を製造し、取り扱う事業者が、化学品の開発から製造、流通、使用、消費・リサイクルを経て廃棄に至る全ライフサイクルにわたって、環境・健康・安全への影響を把握し、影響をできる限り低減するための自主活動です。また、法令遵守はもちろんのこと、活動の成果を公表し、地域・社会とのコミュニケーションを通して「環境・健康・安全」を確保しています。

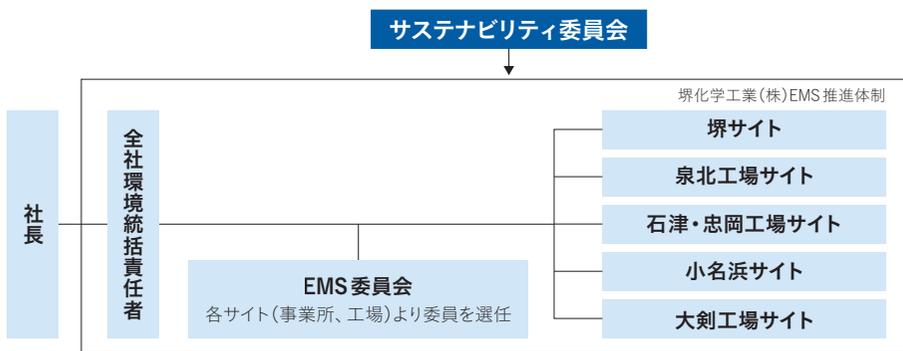
堺化学工業(株)は、(一社)日本化学工業協会に加盟し、レスポンスブル・ケアを推進しています。

### 環境保全

堺化学工業(株)は、事業活動によって生じる環境負荷の低減を図り、汚染を防止し、自然との調和に配慮した事業活動を積極的に行うため、ISO 14001に基づいた環境マネジメントシステムを構築・維持し、効果的な環境保全活動を実施しています。

### 推進体制

全社EMSの有効性の確認や見直し、各サイトの環境取り組み状況の把握を任務とするEMS委員会を開催しています。また、各サイトのサイト環境統括責任者を委員長とするEMSサイト委員会において、サイト内の課題や対応策の協議、情報の共有に努めています。



### 環境コンサルタントのチェックを実施しました

2022年度に、環境コンサルタントによる環境法規制遵守状況のチェックを実施しました。2023年度は、そこで抽出された問題点への対応を進めました。組織的な遵守状況の確認、改善を進め、引き続き環境リスクの低減に努めます。



堺化学工業株式会社 小名浜事業所 環境保全課 新妻 健

第三者の視点からの指摘と、専門的な視点からの助言をいただき、環境リスクの低減につながりました。単なる法令遵守のみならず、環境に対するマインド形成にも有用な機会だったので、今後の取り組みに活かしていきます。

### 2023年度の目標と実績

堺化学グループのマテリアリティ目標の実現に向け、堺化学工業(株)は、環境目標を設定し、活動しています。2023年度の達成度合いは以下の通りです。

項目		目標	実績	評価	2024年度目標
気候変動への取り組み	CO <sub>2</sub> 削減	CO <sub>2</sub> 排出量削減率(2013年度比) 2030年度30%削減	32%削減	○	目標の継続
	省エネルギー	エネルギー原単位 前年度比1%削減	0.5%の悪化	×	目標の継続
資源循環への取り組み	産業廃棄物排出量削減率(2021年度比) 2025年度25%削減	29%削減	○	産業廃棄物排出量 前年度より改善	
汚染防止、環境負荷物質削減への取り組み	法規制値遵守	軽微かつ一時的な基準値の超過(3件)	×	法令・条例基準値遵守	
生物多様性への取り組み	自社処分場の工事に合わせ環境影響評価の事後評価実施 カーボンオフセット都市ガス導入の継続	・自社処分場の工事の進捗なし ・カーボンオフセット都市ガスを大剣工場に新たに導入済	○	水使用量 前年度より改善	
環境コンプライアンスへの取り組み	重大な環境事故0件/年	0件	○	目標の継続	

※「旧省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に基づき算出した値で評価しました。

## 労働安全衛生

堺化学工業(株)は、「トップ・管理監督者の強いリーダーシップのもと、全員が一丸となって“ゼロ災・ゼロ疾病”を達成する」を安全衛生基本方針に掲げ、安全衛生活動を推進しています。また、グループ会社の安全衛生活動についても、堺化学工業(株)が積極的に関与し、グループ全体で従業員の安全を守る職場づくりを進めています。

### 新たな労働安全衛生活動

“ゼロ災・ゼロ疾病”達成のためには、一人ひとりが「あるべき姿」の職場づくりに貢献し、「目標」を達成することが重要です。

堺化学工業(株)では、トップが議論を重ね、新たに5項目の活動の実施を決定しました。各事業所のトップは、“ゼロ災・ゼロ疾病”を達成するという強い思いを込めた「私の安全宣言」を全従業員に公表しています。

### あるべき姿

各人が職場の仲間に関心を持ち、全員が不安全状態や作業に対して注意しあえる、指摘を受けることに感謝する職場となる。(依存型から自律型の安全活動への変革)

### 目標

安全衛生基本方針である「トップ・管理監督者の強いリーダーシップのもと、全員が一丸となって“ゼロ災・ゼロ疾病”を達成する」という全員参加の安全活動を実現・体現する。

#### 1 安全三役が自ら模範を示す(率先垂範)

- ①安全三役が「私の安全宣言」を行い宣誓する
- ②安全三役による抜き打ちパトロールを行う

#### 2 安全に関するルールを明確に制定する(標準・規程・マニュアル等)

安全衛生に関する基本ルールの整備・制定

#### 3 具体的な教育体系を作り、実行する

- ①全社的な安全教育の体系化
- ②e-ラーニングの活用

#### 4 設備改善にて恒久対策を図る

- ①事例から抽出される設備要因を解消する
- ②安全巡視や外部監査で指摘を受けた設備要因を解消する

#### 5 安全衛生活動の活性化を図る

- ①安全衛生活動の発表
- ②各部会により繰り返される事例等への対応策を提案

### 堺化学工業(株) 各サイトの安全三役※の「私の安全宣言」(2023年度)

小名浜地区		在阪地区	
岡本委員長	昼夜に限らず、1日に何度でも、会った人には必ず挨拶します。	田畑委員長	“生まれ”では必ず左右確認を行います。
徳永副委員長	横断歩道では、一時停止、指差呼称を必ずします。	深田副委員長	ヘルメット・保護メガネセットで着用します。
高橋副委員長	保護メガネを必ず着用します。	岩倉副委員長	保護メガネ着用を徹底的に行います。

※ 堺化学工業(株)では各サイトの安全衛生委員会の委員長・副委員長(2人)を「安全三役」と称しています。

### グループ会社への安全衛生活動の推進

堺化学グループでは、グループ安全会議を年2回定期的に開催し、各種情報共有や意見交換を行っています。2023年度は、労働災害発生件数を鑑み、臨時のグループ安全会議を開催し、改めて「指差呼称」「KY(危険予知)」「5S」の徹底と定着を要請しました。

教育面では、グループ会社を含めた安全衛生教育を開始しました。グループ全体で安全意識の向上を図り、事故のない安全な作業と環境の構築に努めています。

## 保安防災

保安防災は、レスポンスブル・ケアを推進する上での大切な柱です。有事の際に迅速な対応が取れるように、堺化学工業(株)では各事業所で定期的に防災訓練を実施しています。

堺事業所では、「大阪880万人訓練」に合わせた避難訓練と総合防災訓練を実施しました。訓練では、避難場所への移動や安否確認システム、非常用IP無線機の通信動作を確認しました。

小名浜事業所においても、小名浜消防署と小名浜共同防災協議会との共同防災訓練の一環として、消火訓練等を行いました。堺化学工業(株)の自衛消防隊が初期消火活動を開始し、現場に駆けつけた消防隊に現場を引き継ぎ、消防車による放水が行われるまで、実際の火災を想定して訓練を行うことで、有事の際、滞りなく消火活動ができるように努めています。



堺事業所 総合防災訓練



小名浜事業所  
小名浜消防署と小名浜共同防災協議会との共同防災訓練

## 物流安全

化学品輸送時の事故や災害を防止するため、国内外の法規制動向を把握し、危険有害性を有する化学物質の輸送時の適切な管理を徹底し、非常時の措置をルール化しています。

堺化学工業(株)では、輸送時の万一の事故に備え、運転手や消防・警察などが取るべき処置を記載した緊急連絡カード(イエローカード)を作成し、物流会社に提供しています。

製品の安全な輸送のために、物流会社同席の上、安全品質会議を月1回開催しています。安全管理の徹底に加えて、取扱品の品質維持について情報共有し議論を交わしています。また、年1回安全講習会を実施して安全対策の徹底に努めています。



堺化学工業株式会社 堺物流課

## 化学品・製品安全

原材料調達から生産、物流、販売、使用、廃棄までの製品に関わる全サイクルにわたり、環境・健康・安全面に及ぼす危険性・有害性のリスクを管理しています。

堺化学工業(株)では、お客さまに安全に製品を使っていただくため、安全データシート(SDS)やchemSHERPAを用いて、製品含有化学物質の最新情報を提供しています。また、対象となる法令・法規制情報を定期的に入手し、堺化学グループ全体で共有しています。

### 労働安全衛生法令の改正を受けて

化学物質による労働災害の防止を目的に、2023年4月に労働安全衛生規則などの一部が改正されました。堺化学工業(株)では、本改正に対応するための仕組みを構築し、運用を開始しました。また、堺化学グループ各社にも事例を紹介するなど、対応をサポートしています。

- (1) 「化学物質管理者」「保護具着用責任者」の選任
- (2) 対象物質のリスクアセスメント実施とそれを記録する仕組みの構築と運用の開始
- (3) リスクアセスメント実施結果に対する審議の開始
- (4) 製品の納品時に最新版SDSを適切に提供する仕組みの構築と運用の開始

SDSは、化学物質(製品)の危険性や有害性、取り扱いに関する情報を伝達するための重要な文書です。品質保証部では、最新のSDSをお客さまに迅速に提供できるよう、SDS作成支援ツールを活用して、その維持管理の効率化に努めています。



堺化学工業株式会社 堺事業所 品質保証部

地域コミュニケーション

第14回 レスポンシブル・ケア堺・泉北地区地域対話 2024年2月9日



堺化学工業株式会社  
堺事業所 環境保全課  
野上 貴代

レスポンシブル・ケア委員会に加盟している堺・泉北地区の化学メーカーが共催する地域との対話集会在、当社で開催されました。対話集会では、活動報告に加え、地域の皆さまに工場を見学いただきました。ご質問とご意見をたくさんいただき、相互理解を深める有意義な機会になりました。



堺科学教育フェスタ 2024年7月13日



堺化学工業株式会社  
コスメティックイノベーション部  
本田 瑞希

日焼け止めをテーマにした化学実験を地域の子どもたちに体験してもらいました。子どもたちは、白衣に身を包んで計量や攪拌操作に挑戦。「日焼け止め材料の効果はすごい」と興味津々でした。今後も同様の取り組みで、未来を担う子どもたちに化学の楽しさを伝えていきたいです。



いわきおどり小名浜大会 2023年8月4日



堺化学工業株式会社  
小名浜事業所 大剣工場  
比佐 達郎

地域の皆さまに日頃の感謝の気持ちを伝え、地域活性化の一助となるため、当社では各種地域イベントへ参加しているほか、協賛などによって運営を支援しています。

2023年の「いわきおどり小名浜大会」にも参加し、祭りを盛り上げ、見事優勝を果たしました。



特集

EcoVadis 社によるサステナビリティ活動評価および同社からの取材対応

環境対策や労働安全衛生のケア、サプライチェーン全体を考慮した人権対応、それらを踏まえた調達活動など、企業が対応しなければならない課題は多く存在します。そうした取り組みなくしては、真のサステナビリティは実現できません。

堺化学工業(株)は、EcoVadis 社による第三者評価を活用し、日々の活動の水準を確認しています。EcoVadis 社は、フランスに本社を置き、企業の環境・社会的慣行の改善を目的に、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4つの側面からサステナビリティを評価する機関です。評価を受け始めた2020年から4年間のスコア推移は以下の表の通りです。スコアは少しずつ向上してきており、現場での日々の地道な取り組みの成果が現れています。2024年1月にはEcoVadis 社から取材を受け、受審のきっかけやサステナビリティに対する考え方について説明しました。

※取材の詳細は下記のURLまたはQRコードから確認できます。

更新作業時期	ステータス時期	評価	総合スコア	堺事業所			
				環境	労働・人権	倫理	持続可能な資材調達
2020年度	2021年度	ゴールド	67	70	70	60	50
2021年度	2022年度	ゴールド	68	70	70	60	60
2022年度	2023年度	シルバー	68	70	70	60	60
2023年度	2024年度	シルバー	69	70	70	70	60

更新作業時期	ステータス時期	評価	総合スコア	小名浜事業所			
				環境	労働・人権	倫理	持続可能な資材調達
2020年度	2021年度	ゴールド	71	80	70	60	50
2021年度	2022年度	ゴールド	72	80	70	60	60
2022年度	2023年度	ゴールド	72	80	70	60	60
2023年度	2024年度	ゴールド	74	80	70	70	70



【ウェブサイト】  
<https://resources.ecovadis.com/ja/suppliers-customer-stories/sakai-chemical-customer-interview>

